

せっけんユーザー訪問 「自由の森学園 食生活部」編

<自由の森学園と食生活部の思い>

埼玉県飯能駅から車で15分ほど。自由の森学園は、豊かな自然の中にある私立の中学校・高等学校(1985年開校)です。

食生活部は生徒達の胃袋をつかんでいる「学生食堂」です。学園創設時に保護者達が「本当に安全で美味しいものを子どもに食べさせたい」と、学生食堂を運営したのが始まりで、「その思いは担い手が変わっても引き継がれています」と栄養士の脇坂さん。

また創立当初から環境教育に力を入れており「飯能の美しい自然環境を守りたい」という思いから、食器や調理器具の洗浄にせっけんの街の粉せっけんを30年以上利用されています。

2017年にユネスコスクール(*)に加盟してから、環境保全への思いはさらに強くなっているとのこと。

(*180か国で約10,000校が加盟。生徒の心の中に平和のとりでを築くことを目指し、ユネスコが提唱する教育理念を実践する。)

<こんな風に洗浄しています>

洗い場がある各所に粉せっけんを配置。キッチンポットに粉せっけんを入れお湯で溶いたものをつくって、すぐに使えるようにしています。(写真a)

食器を洗うときは残渣などを軽く流してから、油ものとそれ以外(湯飲みや飯椀など)に分け、お湯を溜めて粉せっけんを溶かした大きなシンクで手洗いします(写真b・c)。

そのあと大きな食洗機ですすぎ洗い。乾燥機で熱風乾燥します(写真d左が食洗機。右が乾燥機)。

この食洗機は合成洗剤を入れれば自動で洗えるものですが、食生活部ではあえてせっけんで手洗いしているのです。

「これだけ洗い物をしてても手が荒れないので本当に助かります」「調理場で仕事している人の手には見えない、とよく言われます」「このせっけんがなくなったら困ります」と食生活部のみなさん。



写真a



写真b



写真c



写真d

<もちろん廃食油もリサイクル>

調理に使った廃食油はバックヤードにあるタンクに貯めておき、いっぱいになったらせっけんの街が回収します(写真e)。自由の森学園とせっけんの街で、廃食油リサイクルの輪が回っています。

食生活部の渡邊さんから「今は校用車が全てBDF(植物油からつくられるディーゼルエンジン用燃料)使用なので、そちらにも活用しています」というお話も伺えました。



写真e

今まで粉せっけんは食器や調理器具洗いにしか使っていませんでしたが、今後は洗濯にも使ってみたいです。そして千葉の工場にも伺いたいです。いろいろお話を聞かせてください。



脇坂さん(右)と渡邊さん



自然に囲まれた学校の食堂

日替わり定食はタンドリーチキン

理事のおススメ

せっけん、こんな使い方してます♪

スプレーボトル1杯の水に小さじ1/2の粉せっけんを溶かし、窓ガラスや床、スイッチまわり、家の外回り(ベランダなど)を掃除します。洗濯液とほぼ同濃度なので、スプレー後、布で拭き取ればヌルヌルも残りません。特に外回りは掃除した後の液体が下水道を介さず環境に流れ出るので、せっけんがオススメです。(岩崎)



せっけんの街 2kg

娘が仕事場で履いているズックの汚れ落としに、せっけんの街粉せっけんを使っています。軽く下洗いし、泡立てた粉せっけんをブラシで洗いました。ビフォー・アフターの写真をご覧ください。合成香料が使われておらず、食品工場でも安心して使えます、とのこと。(道端)



萌7kg(業務用)

洗濯前に水と酸素系漂白剤とせっけん適量を溶き約10分、表面に泡粒が見えたら洗濯機に投入しスイッチオン。

ドラム式ですが、せっけんの溶け残りや点状に色が抜ける事もなくなり、泡立ちと洗浄力もアップした気がします。せっけんカスや洗濯機のカビ防止も兼ね、ほのかとフィトンαも併用。その他つけ置き洗い(臭いの気になる靴下、換気扇のシロッコファン)、布中の煮洗いにも使っています。

廃食油回収で使った油で汚れた道具(濾し網・ざる・ケース)や回収車も洗っています。(須田)



粉せっけんと酸素系漂白剤をあらかじめ溶かしておく。

汚れが目立つ黄色のエプロンが制服だった物流倉庫勤務時代。エプロンをお湯で洗い、粉せっけんを泡立て、たっぷりの泡に30分〜1時間つけ置き洗いしていました。汚れ落ち抜群な上に生地の色褪せがなく「新人の(きれいな)エプロンみたい!」と驚かれていたほどです。今はスニーカー洗いにこの技を使っています。(安藤)



みなさんのおすすめの使い方も教えてください♪

我が家の3種の神器

キッチンには泡ボトル・うてなちゃん・粉せっけんを取り揃えて用途に応じて、使い分けしています。箸や漆器には液体せっけんおれんじの泡で、うてなちゃんはワンアクションで使えるのがお気に入り。グリルの網やシンクをしっかりと洗いたいときは万能粉せっけんが登場。泡がずっとへたらずにキッチン周りがピカピカ、キュキュッ!!(藪腰)



☆☆☆ 地区の活動 ☆☆☆

生活クラブマルシェ 生活クラブ佐倉ブロック主催
(12月12日 @SAKULOUNGE(上志津))

生活クラブ佐倉ブロック主催のマルシェに出展しました。「台所用おれんじの次は、粉せっけんでの洗濯にチャレンジしたい。」という方に、使い方をお伝えしました。

クリスマスリースのワークショップのほか、手作りアクセサリー、おもちゃと衣類のリサイクルの呼びかけなど、様々な出展があり、小さなお子さん連れの親御さんたちと楽しい時間を共有しました。』



写真: 着られなくなった衣類を無駄にしない取り組み

ナチュラルマルシェ 生活クラブ柏センター主催
(11月16日 清水公園駅東口 ソライエひろば)

秋晴れで子ども連れの若いご家族も多く、我孫子や松戸からのお客様も。せっけんは良く泡立って程抜群の汚れ落ち!をアピール。お子さんを育てる方には化学物質を減らす暮らしを願っています。安心なせっけんしゃぼん玉で子どもたちはしゃべっていました。

